

地域を守る。区政を動かす『区動力!』

私たちの声が未来を変える。防災士 動かせ! 区政。次世代に責任。



かずちかの決意!

- 子どもたちに誇れるしごとをする。 **次世代に責任!**
- ガンバル人を応援する。 **夢と希望を!**
- 地域の声で政治を動かす。 **現場第一主義!**

かずちかの目指すもの!

- 安心して暮らせるまちづくり。
- にぎわいの創出。活力溢れるまちづくり。
- 誰もが住み続けられるまちづくり。

かずちかの地域を守る!5つの約束。

- 約束その1 生命と財産を守る!**
首都直下大地震やゲリラ豪雨など大災害に備えた中野減災まちづくりの推進と、犯罪抑止のための地域コミュニティの活性化と支援を進めます。
- 約束その2 暮らしを守る!**
地域の良さを守り、地元中小企業、商店街をサポート。沿線地域の活性化策を推進します。
- 約束その3 お年寄りを守る!**
バリアのない街づくりの推進で、利便性にきわみを創出、住み続けられるまちを目指します。
- 約束その4 子ども&子育て世代を守る!**
保育環境の充実とスポーツを通してこどもたちの健全な身体と精神を育成、あわせて地域の活性化にも努力します。
- 約束その5 健康を守る!**
医療・予防医療、介護システムの充実、脳ドックの助成・推進と救急も含めた小児医療の充実を進めます。

地域を守る! かずちか応援団



高橋かずちか 拜

私が学び体験してきた、「まちづくり・都市政策」「防災・治安等危機管理」「子育て・教育・環境等の次世代支援」「社会的包容力」「医療と高齢化社会対応」等々の重要課題への取り組みは、私自身が政治家として目指すゴールである「安心して次世代まで住み続けられる活力溢れる街(まち)を創る」ことに直結します。

このたび、齊藤金造氏、山崎芳夫氏、両区議会議員のご勇退を受け、お二人が活躍された地域を守るべく、皆様の声を区政に届け活かす活動を始めました。皆様との繋がりを引き継ぎ更に伸展させ、生まれ育った中野、皆様が情熱を傾け続ける中野の為に全力投球することこそが、私が目指すゴールへの第一歩であると確信しております。

これまで都政打開に向けて活動してきた経験とネットワークを活かし、私たちの声で、地域を守り区政を動かす、次世代に「夢と希望」という襁(たすき)を渡す新たな一歩を歩んでいければ幸いです。

皆様の「声」を是非ともお寄せください。お待ちしております。

明治大学客員研究員、防災士、
自由民主党東京都中野区第四支部長
高橋かずちか 拜

【高橋かずちかさんの略歴】

昭和35年中野区にて高橋一郎(元衆議院議員)長男として生まれる
宝仙学園幼稚園小学校、学習院大学法学部卒業、明治大学公共政策大学院(公共政策修士)卒業
清水建設(株)(15年)、衆議院議員秘書/国土交通副大臣秘書
株地域整備総合研究所取締役、専門学校監事

【現在】 明治大学客員研究員、中野区なぎなた連盟顧問
中野区剣道連盟後援会理事、NPO法人アニマル・ワン理事(ペット共生、動物愛護)

【その他】 宅地建物取引主任者、防災士、薬物乱用防止講習会教育講師
キャンプインストラクター

【座右の銘】 之を修して自ら知れ(興教大師)≒現場第一主義

【趣味】 富士登山、キャンプ、スキー、スポーツ観戦、舞台鑑賞

【好きな食べ物】 カレー、そば、寿司

是非、ご意見をこちらまでお寄せ下さい。お待ちしております

- Twitter http://twitter.com/kazuchika_jp
- E-mail dakai@kazuchika.jp
- Blog <http://www.kazuchika.jp/>

高橋かずちか事務所

〒165-0023 中野区江原町2-29-13 ジェミニA館206号
Tel.03-5982-6801 Fax.03-5982-6802

TOKYO自民党は、4月24日投票で行われる中野区議会議員選挙に高橋かずちかさんの公認を決定し、必勝を期しています。高橋かずちかさんは、中野区政に臨む決意を力強く語っています。

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)

自由民主党ホームページ
<http://www.jimin.jp/>

<毎週火曜日発行>

防災士

(2009年1月22日取得)

明治大学客員研究員
日本自治体危機管理学会会員

高橋かずちかさん

緊急防災特集 第二弾!

中野区防災戦略

避難所・トイレ問題

(第2面)

万が一に備えた、我が家の地震対策の優先順位

- STEP.1 耐震化
- STEP.2 家具の転倒防止
- STEP.4 家族の安否方法の確認
- STEP.5 避難の準備

避難所はどこか、ご存知ですか？

(H19版中野区防災計画より)
 ◎【江原小学校】江原町会 ◎【第7中学校】江古田1丁目町会、沼袋町会 ◎【江古田小学校】旭公民館
 ◎【緑野中学校】江古田4丁目町会 ◎【上高田小学校】松が丘片山町会 等々

避難所の備蓄物資を総点検したい！ 災害時トイレ問題

(H19版中野区防災計画より)
 今回の東日本大震災の津波被害は、まちを根こそぎ破壊してしまったが、首都直下大地震の場合、人口密集高密度都市東京中野が、建物倒壊と火災から逃れ、72時間生き延びた場合、そのあとに訪れる問題は、「避難所問題」「水」「トイレ」「通信(情報)」である。災害時にインフラが相当ダメージを受けると、下水排水機能が大きな問題となる。齊泰対応のインフラ整備が急務だ！
 避難所問題では、ベットの扱いをどうするのか？今後現実的な議論を、獣医師会・ペット関連団体等関係団体と調整が必要です。

■トイレ問題の具体例

中野区の防災計画の災害対策用備品物資一覧では、1避難所あたり、「仮設トイレ:5」「簡易トイレ:5」「マンホールトイレ:2~3」となっている。しかし、各避難所の収容人数をみてみると、..

- ◎【江原小学校(江原町会)】 ⇒収容人数:約3,800名
- ◎【第7中学校(江古田1丁目町会、沼袋町会)】 ⇒収容人数:約4,400名
- ◎【江古田小学校(旭公民館)】 ⇒収容人数:約3,800名
- ◎【緑野中学校(江古田4丁目町会)】 ⇒収容人数:約3,700名



非常時持出品チェックシート

貴重品類		救急用具	
10円玉は公衆電話用に。通帳、カード、健康保険証、運転免許証などは番号を控えたメモかコピーを用意しておくとういでしょう。	現金・10円玉 預金通帳 印鑑 保険証 免許証	救急箱には絆創膏・消毒液など。その他ビタミン剤など日頃使っているサプリメントなどもあるとよいでしょう。	救急箱 処方箋の控え 胃腸薬・便秘薬・持病の薬 生理用品
避難用具		非常食品	
懐中電灯はできれば一人に一つ用意したいもの。	懐中電灯 携帯ラジオ 予備の乾電池 ヘルメット・防災ずきん	最低3日分は用意しましょう。そのまま食べられるものが便利です。	乾パン 缶詰 栄養補助食品 飴・チョコレート 飲料水
生活用品		衣料品	
避難所生活に最低限必要なものです。赤ちゃんやお年寄り、障がい者がある場合など考慮して揃えましょう。	厚手の手袋 毛布 缶切り ライター・マッチ ナイフ 携帯用トイレ	衣類は動きやすいものを選びましょう。セーターなどの防寒具も寒い季節には役立ちます。 その他 携帯用カイロ	下着・靴下 長袖・長ズボン 防寒用ジャケット・雨具

常時携行品チェックシート

懐中電灯	
携帯ラジオ	
笛・ホイッスル	閉じ込められた時など場所を知らせます
避難カード	
避難用マップ	

ブログ「かずちかレポート」に「首都直下地震に対する中野区の減災対策について」という私の論文がありますのでご覧下さい。

【かずちかのつぶやき】

この10年が中野の発展にとって勝負どころだ。中野駅周辺や西武線沿線まちづくりや面整備等々。其処には地域の良き文化を引継ぎ、未来に亘って発展していかなければいけない。安全を基本に確固たるまちづくりビジョンが必要だと思う。私がこだわる災害時の地域連携は、治安・子供たちの育成・お年寄りやハンディーを御持ちの方を見守る力にもなる。安全で安心して暮らせる街、賑わい活力あふれる街、住み続けられる街づくり、これこそがバリアー(垣根)のない「何時でも、誰でも、好きな時に自分で動けるまち」=「ユニバーサルデザイン」につながるのではないか。折角巨費を投じて整備するのなら、防災+こうした視点も組み入れ、利用されるまちづくりにしたい。

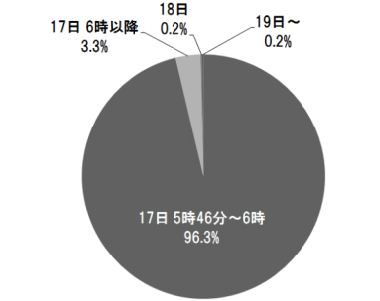
首都直下型大地震に備えた、中野区防災戦略

この度の東日本大震災で被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。犠牲者のご冥福と、全国民あげて一日も早く復興が進みますように心から祈るばかりです。我が国日本は今日まで数々の大震災を周期的に乗り越えてきています。我がまち中野の防災を考えてみると、都市部での大規模な地震発生としてその機能を完全に破壊した阪神・淡路大震災の経験を活かし、首都直下型地震を想定した「防災・減災まちづくり」を都市政策と地域づくりの観点から考えていかななくてはなりません。まずは防災直後に、家屋や家具の倒壊から身を守り、火災から逃れ、自分が生き抜く事。その後の72時間で避難所を立ち上げ、同時に、災害弱者(お年寄り、乳児幼児小児家庭、障害者、日本語が不自由な外国人)をサポートする。避難所には帰宅難民・ターミナル難民といわれる非居住者も訪れるかも知れません。そこに集まるすべての被災者が、情報共有し連携をとり、自分たちが運営した避難所で生き延びなければなりません。そこには防災リーダーが不可欠です。想定を超える事態に対処できるように今までの既成概念にとらわれず、防災の考えかたを総点検し是正すべきは即変えていかなければなりません。一番大切な命を守る為には、自分が日頃からどう注意をしようか出来るのか、行政(中野区・東京都として)に何を求めるのかを考えるべき時期であるし、それは今すぐ実践しなければならぬことです。この未曾有の大災害の復興に全力を挙げることと同時に、近いうちに必ずくるといわれる新たな地震に備えて一人でも犠牲者を減らす為に中野区の現状を把握しうえて、防災・減災についての具体的アクションを考えていかななくてはなりません。

防災士 高橋かずちか 拜

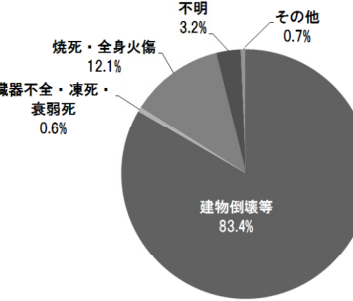
都市型大震災「阪神淡路大震災の教訓を活かせ！」

ほとんどの人が即死だった



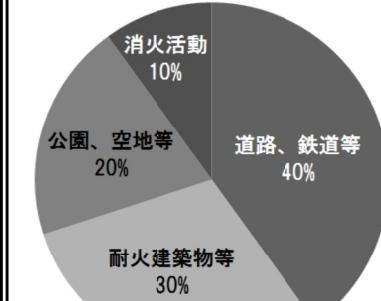
兵庫県南部地震における死者(神戸市)の死亡推定時刻(監察医検案分)(西村明信ほか、救急医学1995/10より)

凶器はマイホームだった



兵庫県南部地震による神戸市内の死者(関連死を除く)の死因分析(東京大学 目黒公郎教授 資料より)

火災の焼け止まり要因



首都直下地震に備えた、中野減災まちづくり

- 耐震化の促進
- 防災環境軸(延焼遮断帯)づくり
 - 河川防災環境軸⇒江古田川、妙正寺川、旧桃園川、神田川、善福寺川
 - 鉄道沿線防災環境軸⇒西武新宿線と同地下化にともなう線路敷
 - 幹線道路防災環境軸⇒区内幹線道路沿線の耐震と耐火強化
 - 面的防災環境軸⇒公園空地の整備(地域内小規模含む、延焼防止の観点から)
- 公園・空地の整備(避難所の観点から)
- ライフライン・インフラ整備⇒災害・復旧に強いインフラ
- 地区ごとに防災リーダー(網)の構築
- 災害弱者への対応⇒日常の地域連携構築(老若男女)
- 各地域ごとの緊急時情報手段確保と共有手段(例: twitter facebook等)
- 地域防災力と企業防災力と学校との連携
- 膨大な避難者と帰宅困難者(含ターミナル難民)への対応
- 備蓄の見直し(トイレ対策は必須・最重要項目)